

○ 香川県のがんの状況

(1) 生活習慣病による死亡状況

- ・香川県の平成29年の全死亡者数は11,894人であった。
- ・死因の1位はがん2,960人(24.9%)、2位は心疾患1,997人(16.8%)、3位は老衰1,077人(9.1%)、4位は脳血管疾患933人(7.8%)であった。

① 生活習慣病による死亡者の推移(香川県)

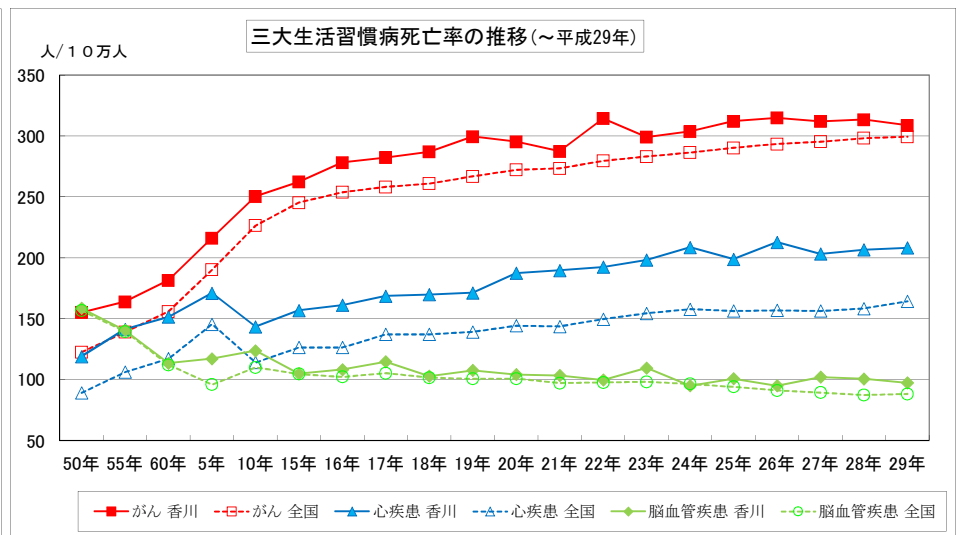
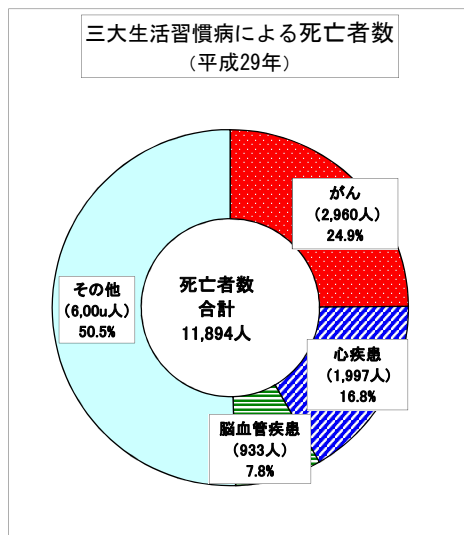
(単位:人)

区分	50年	55年	60年	5年	10年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
がん	1,492	1,619	1,878	2,212	2,569	2,660	2,815	2,841	2,879	2,993	2,942	2,852	3,109	2,947	2,983	3,055	3,067	3,024	3,022	2,960
心疾患	1,144	1,396	1,565	1,750	1,470	1,590	1,631	1,698	1,704	1,711	1,867	1,882	1,903	1,953	2,048	1,947	2,073	1,970	1,993	1,997
脳血管疾患	1,525	1,386	1,174	1,199	1,270	1,064	1,095	1,153	1,031	1,075	1,038	1,025	986	1,079	932	986	925	990	970	933
全死亡数	7,312	7,418	7,516	8,603	9,104	9,556	9,709	10,265	10,241	10,428	10,645	10,639	11,064	11,316	11,369	11,512	11,503	11,593	11,908	11,894

② 生活習慣病による死亡率の推移(香川県・全国)

(単位:人/10万人)

区分	50年	55年	60年	5年	10年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
がん	香川	155.2	163.9	181.6	216.2	250.4	262.3	278.2	282.3	287.0	299.6	295.4	287.5	314.4	299.2	303.8	312.1	314.9	312.0	313.5	308.7
	全国	122.6	139.1	156.1	190.4	226.6	245.4	253.9	258.3	261.0	266.9	272.3	273.5	279.7	283.2	286.6	290.3	293.5	295.5	298.3	299.5
心疾患	香川	119.0	141.4	151.4	171.1	143.4	156.8	161.2	168.7	169.9	171.3	187.4	189.7	192.5	198.3	208.6	198.9	212.8	203.2	206.7	208.2
	全国	89.2	106.2	117.3	145.6	114.2	126.5	126.5	137.2	137.2	139.2	144.4	143.7	149.8	154.5	157.9	156.5	157.0	156.5	158.4	164.3
脳血管疾患	香川	158.6	140.4	113.5	117.2	123.7	104.9	108.2	114.6	102.8	107.6	104.2	103.3	99.7	109.5	94.9	100.7	95.0	102.1	100.6	97.3
	全国	156.7	139.5	112.2	96.0	110.0	104.7	102.3	105.3	101.7	100.8	100.9	97.2	97.7	98.2	96.5	94.1	91.1	89.4	87.4	88.2

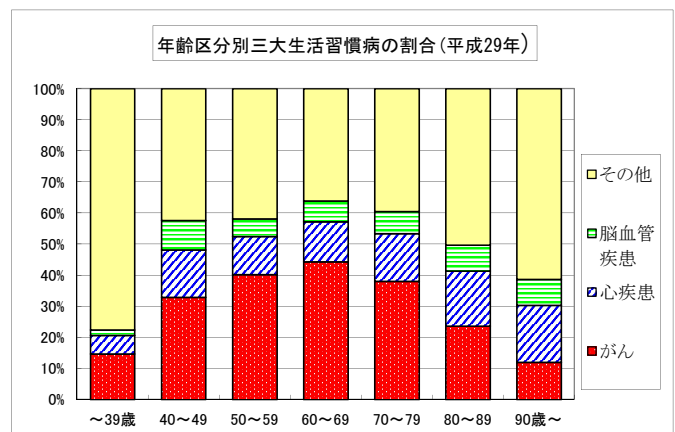


③ 三大生活習慣病による年齢区別死亡数と割合

(平成29年)

(単位:人)

区分	～39歳	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳～
死亡者数	116	158	318	1,115	2,021	4,498	3,668
がん	17 (14.7%)	52 (32.9%)	128 (40.3%)	494 (44.3%)	768 (38.0%)	1,061 (23.6%)	440 (12.0%)
心疾患	7 (6.0%)	24 (15.2%)	39 (12.3%)	144 (12.9%)	312 (15.4%)	800 (17.8%)	671 (18.3%)
脳血管疾患	2 (1.7%)	15 (9.5%)	18 (5.7%)	75 (6.7%)	143 (7.1%)	373 (8.3%)	307 (8.4%)
その他	90 (77.6%)	67 (42.4%)	133 (41.7%)	402 (36.1%)	798 (39.5%)	2,264 (50.3%)	2,250 (61.3%)



#### ④ 総死亡に占めるがんの割合(H29)

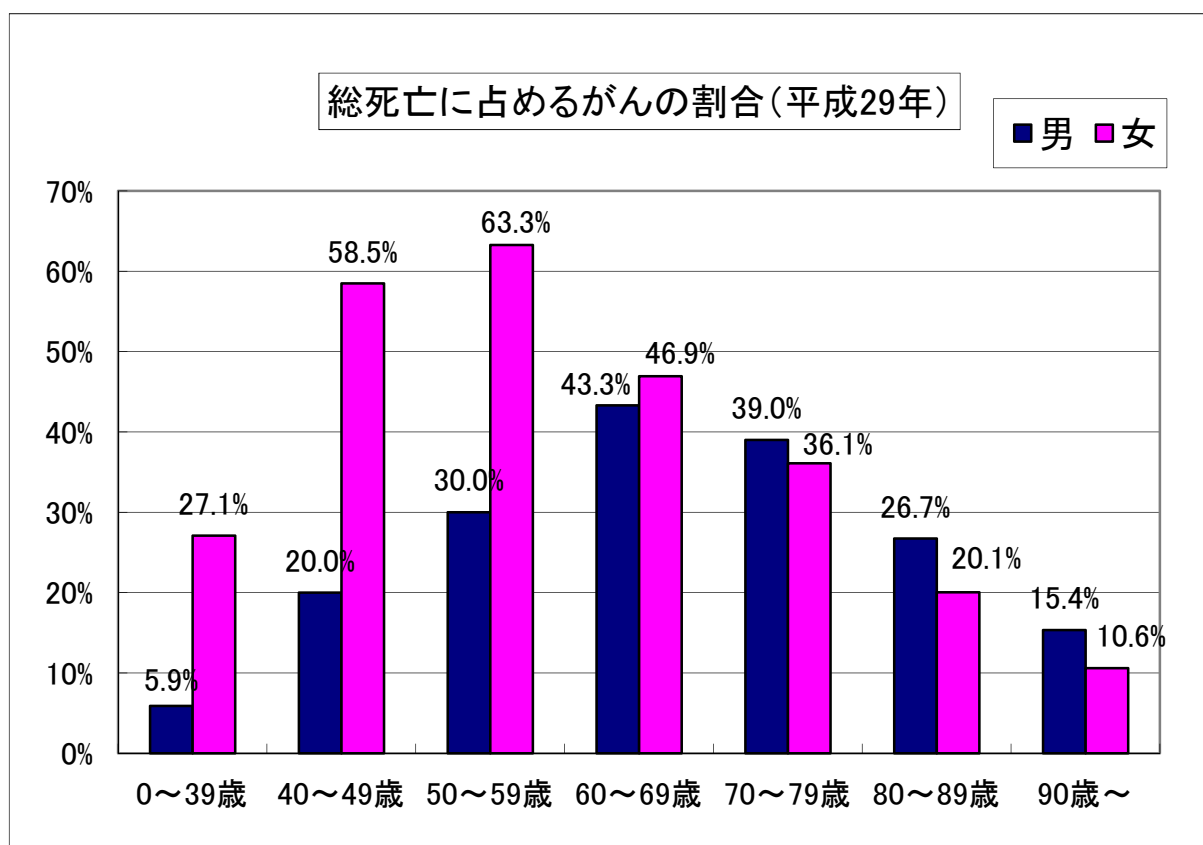
- ・ 男性では60歳代が最も高く、4割を超えている。
- ・ 女性では40歳代、50歳代で5割を超えている。

(単位：人)

総死亡数	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	11,894	116	158	318	1,115	2,021	4,498	3,668
	男	5,967	68	105	220	806	1,315	2,379	1,074
	女	5,927	48	53	98	309	706	2,119	2,594

がん死亡数	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	2,960	17	52	128	494	768	1,061	440
	男	1,754	4	21	66	349	513	636	165
	女	1,206	13	31	62	145	255	425	275

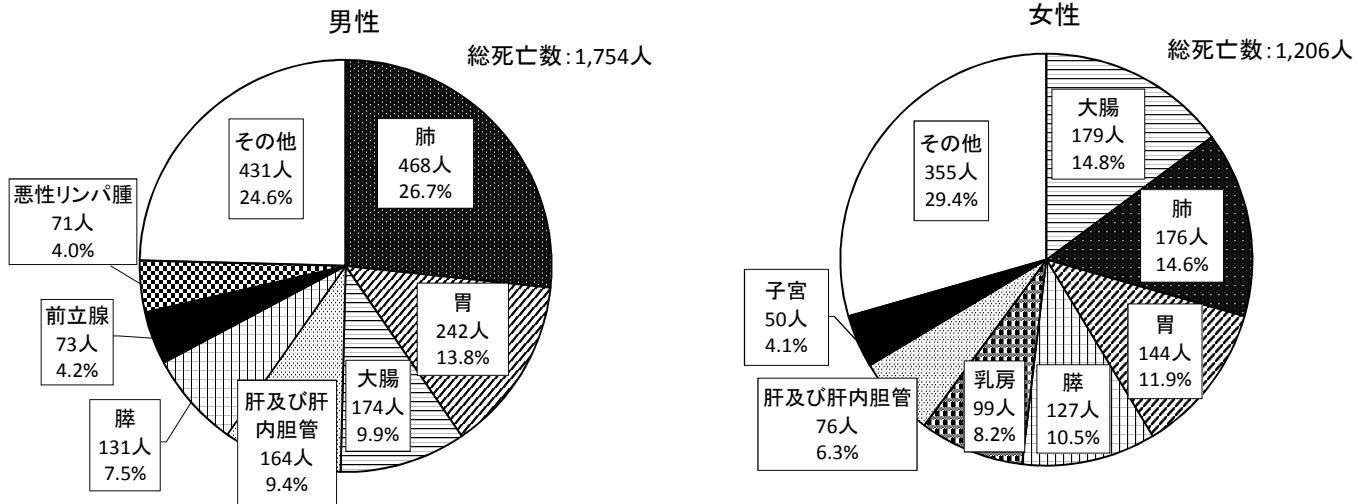
総死亡に占めるがんの割合	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	24.9%	14.7%	32.9%	40.3%	44.3%	38.0%	23.6%	12.0%
	男	29.4%	5.9%	20.0%	30.0%	43.3%	39.0%	26.7%	15.4%
	女	20.3%	27.1%	58.5%	63.3%	46.9%	36.1%	20.1%	10.6%



## (2) がんによる死亡の状況

### ①がんの性別・部位別死亡数の内訳

平成29年のがんによる死亡数は男性1,754人、女性1,206人、計2,960人となっています。  
 男女別の内訳をみると、男性では「肺」(26.7%)が最も多く、次いで「胃」(13.8%)、「大腸」(9.9%)の順となっています。女性では「大腸」(14.8%)が最も多く、次いで「肺」(14.6%)、「胃」(11.9%)の順となっています。



### ②がんの部位別死亡数の推移

<総数>

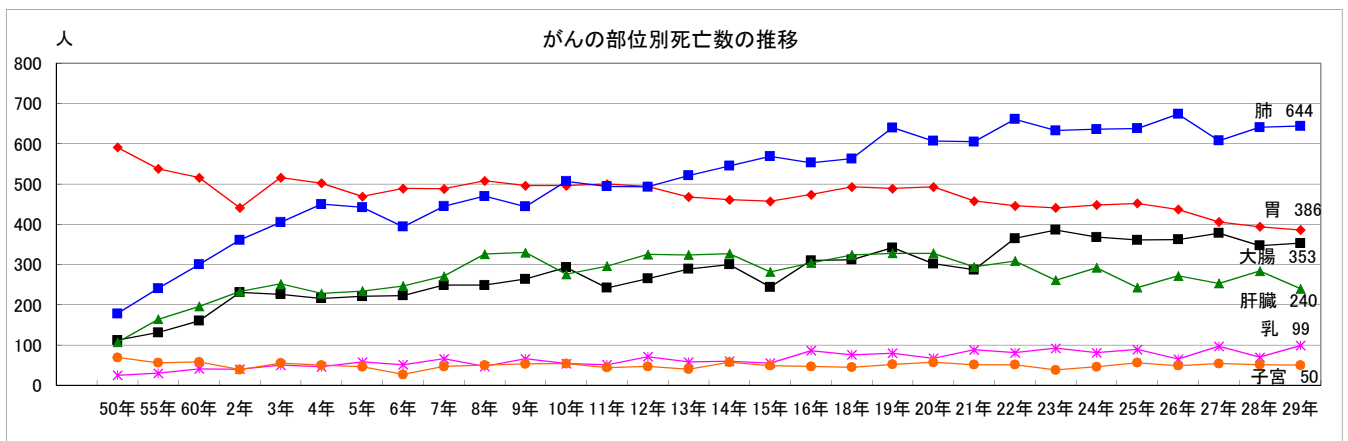
肺がんは横ばいから増加傾向にある一方、胃がんは横ばいから減少傾向である。大腸がんは、平成22年に増加し、それ以降、横ばい状態にある。

(単位: 人)

区分	50年	55年	60年	5年	10年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
肺	178	241	300	442	507	569	553	563	563	640	607	605	661	633	636	638	674	608	641	644
胃	591	538	516	469	496	457	474	502	493	489	493	458	446	441	448	452	437	406	394	386
大腸	112	131	160	221	293	244	310	309	312	342	302	287	365	386	368	361	362	378	347	353
肝臓	107	164	196	234	276	282	304	317	324	328	328	294	309	261	292	243	272	253	284	240
乳	25	30	41	58	54	55	86	67	76	80	67	88	81	92	81	89	65	97	70	99
子宮	69	56	58	46	54	49	47	37	45	52	57	51	51	38	46	56	49	54	51	50

(注) 大腸は結腸と直腸S状結腸移行部を示す。  
 肺は気管・気管支及び肺を示す。

肝臓は肝及び肝内胆管を示す。  
 乳がんと子宮がんは女子の死亡数のみである。



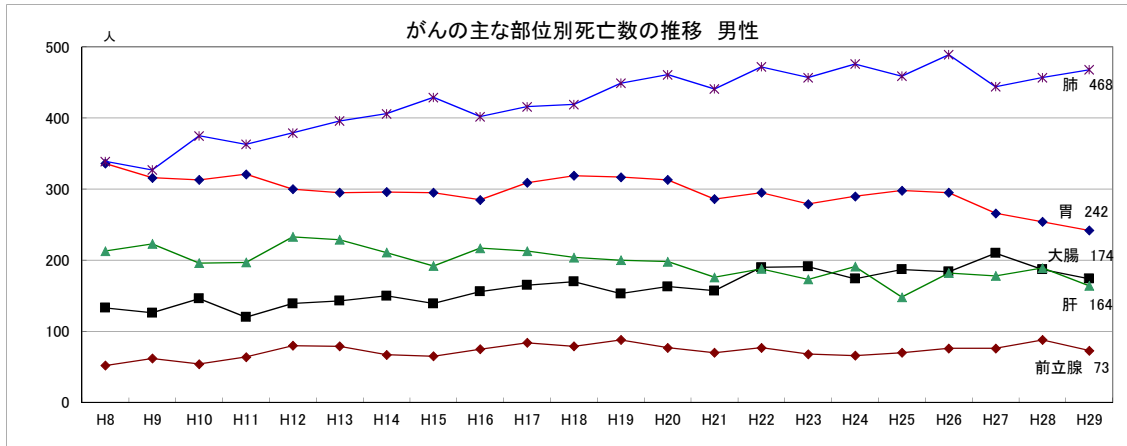
<男性>

- ・肺がんが最も多く、胃がんが続いて多い。
- ・胃がんが減少傾向で、大腸がんは近年横ばいである。

(単位：人)

区分	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
肺	375	363	379	396	406	429	402	416	419	449	461	441	472	457	476	459	489	444	457	468
胃	313	321	300	295	296	295	285	309	319	317	313	286	295	279	290	298	295	266	254	242
大腸	146	120	139	143	150	139	156	165	170	153	163	157	190	191	174	187	184	210	187	174
肝臓	196	197	233	229	211	192	217	213	204	200	198	176	188	173	191	148	182	178	189	164
前立腺	54	64	80	79	67	65	75	84	79	88	77	70	77	68	66	70	76	76	88	73

(注) 大腸は結腸と直腸S状結腸移行部を示す。肝臓は肝及び肝内胆管を示す。  
肺は気管・気管支及び肺を示す。

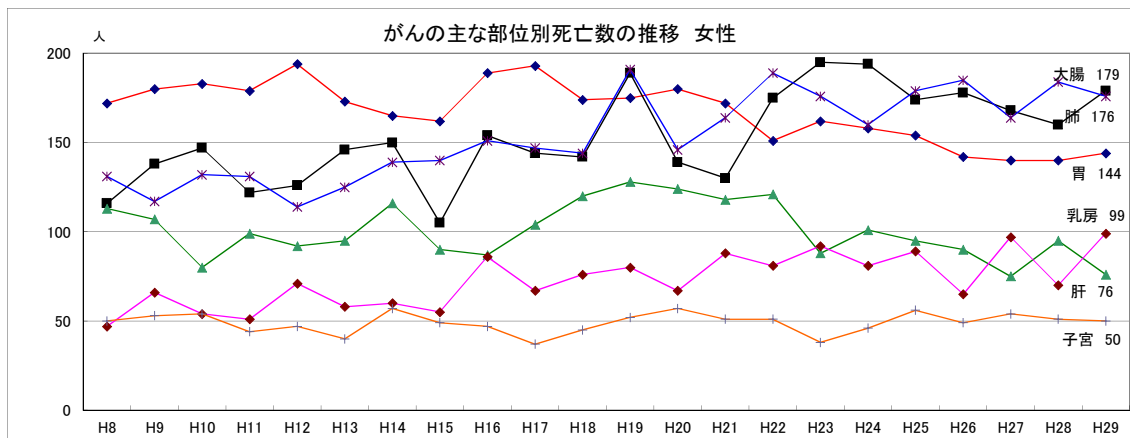


<女性>

- ・大腸がんが最も多く、肺がんが続いて多い。
- ・乳がんは平成29年において増加している。

(単位：人)

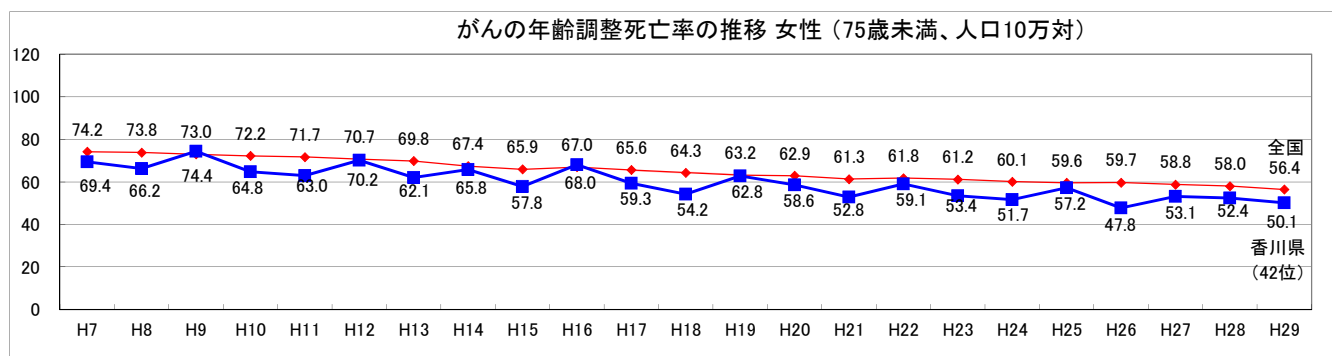
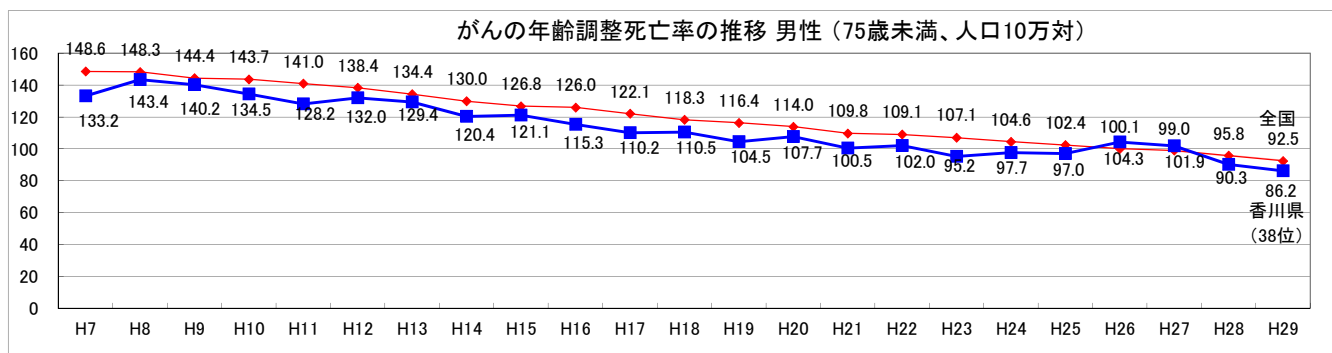
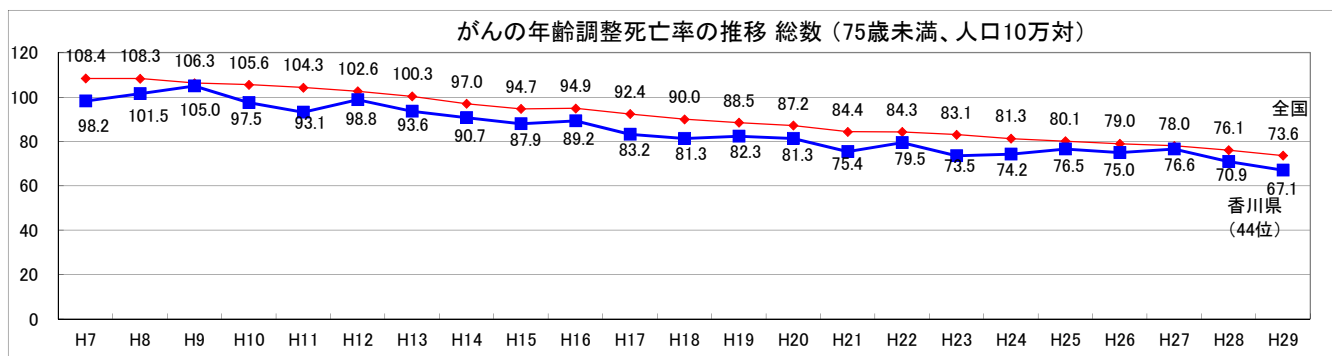
区分	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
肺	132	131	114	125	139	140	151	147	144	191	146	164	189	176	160	179	185	164	184	176
胃	183	179	194	173	165	162	189	193	174	175	180	172	151	162	158	154	142	140	140	144
大腸	147	122	126	146	150	105	154	144	142	189	139	130	175	195	194	174	178	168	160	179
肝臓	80	99	92	95	116	90	87	104	120	128	124	118	121	88	101	95	90	75	95	76
乳房	54	51	71	58	60	55	86	67	76	80	67	88	81	92	81	89	65	97	70	99
子宮	54	44	47	40	57	49	47	37	45	52	57	51	51	38	46	56	49	54	51	50



③がんの年齢調整死亡率 総数・男女別(75歳未満、人口10万対)

がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対)をみると、全国と同様に、年々減少傾向にあり、平成29年では67.1となっており、全国(73.6)より低い状況です。

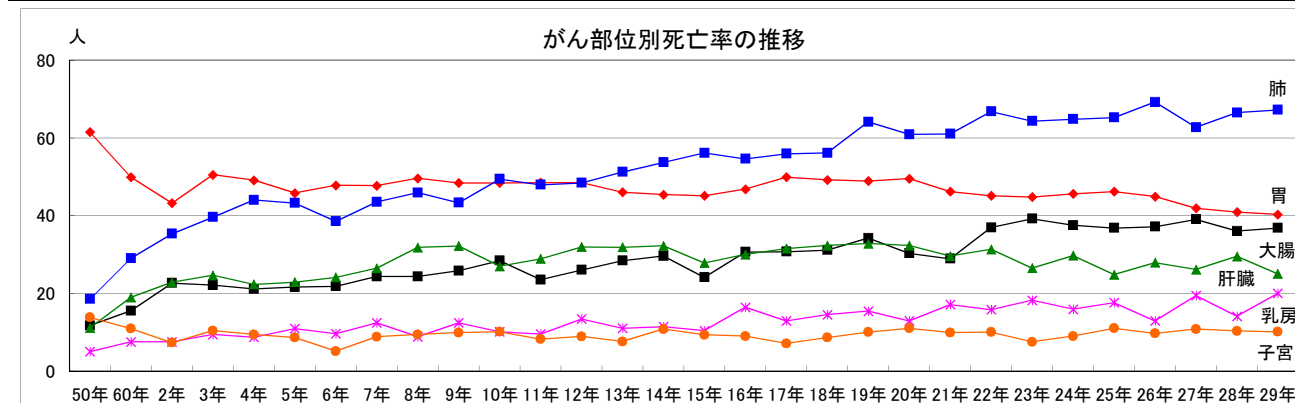
男女別について、平成29年では男女ともに全国値を下回っています。



(参考)主な部位別死亡率の推移(人口10万対)

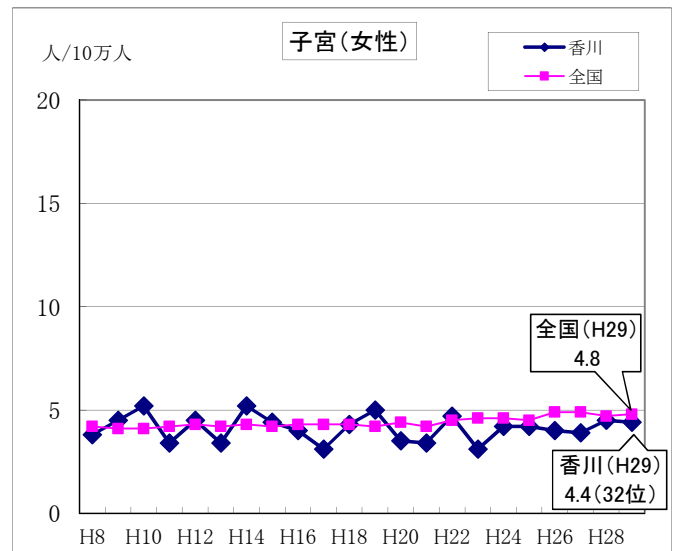
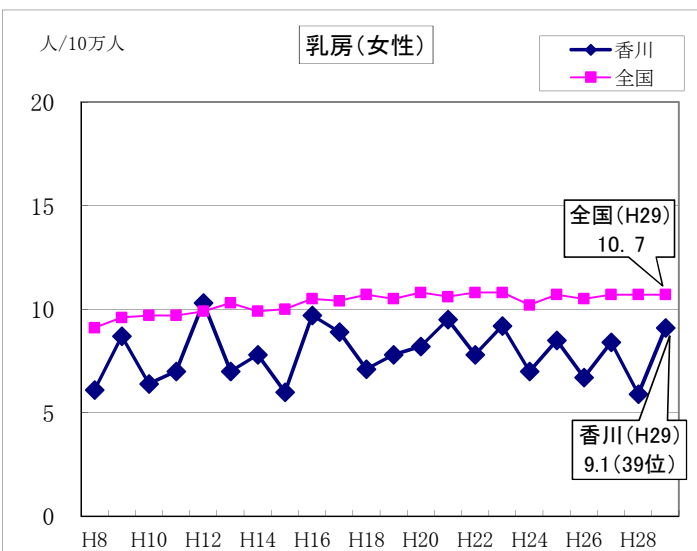
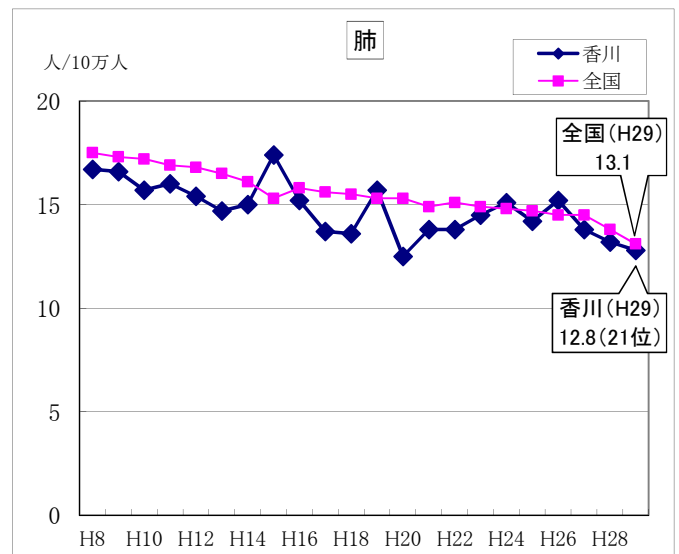
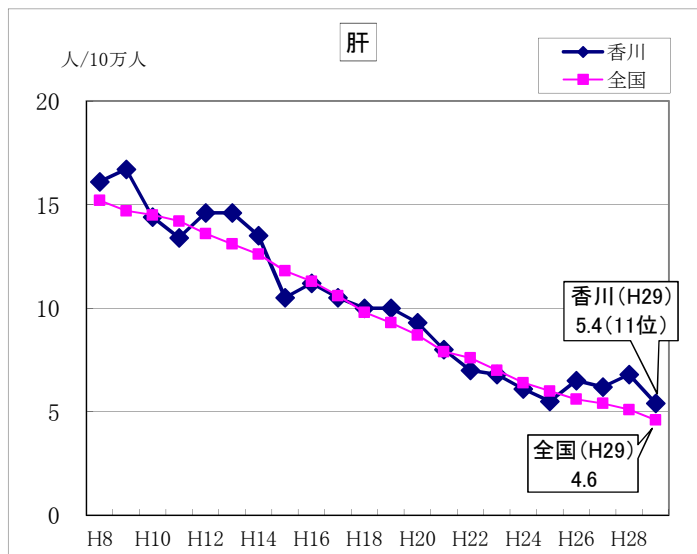
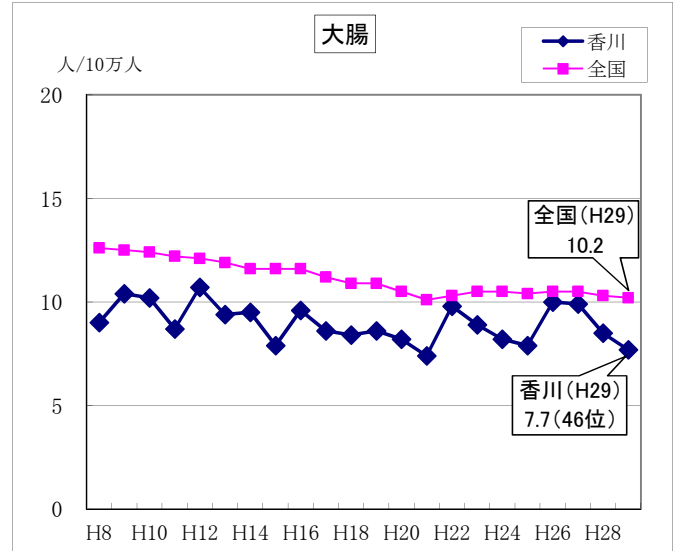
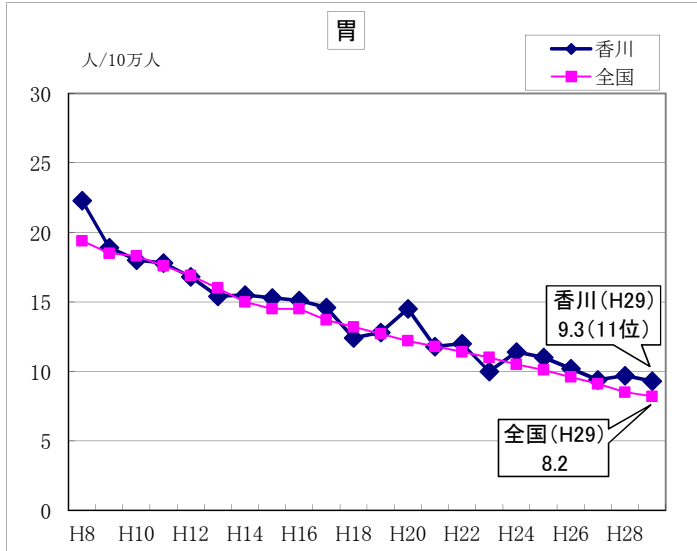
乳がんと子宮がんは女性のみ

区分	50年	60年	5年	10年	15年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
肺	18.5	29.0	44.0	49.4	56.1	55.9	56.1	64.1	60.9	61.0	66.8	64.3	64.8	65.2	69.2	62.7	66.5	67.2
胃	61.5	49.9	45.8	48.4	45.1	49.9	49.2	48.9	49.5	46.2	45.1	44.8	45.6	46.2	44.9	41.9	40.9	40.3
大腸	11.7	15.5	21.6	28.4	24.1	30.7	31.1	34.2	30.3	28.9	36.9	39.2	37.5	36.8	37.1	39.0	36.0	36.8
肝臓	11.1	19.0	22.9	26.9	27.8	31.5	32.3	32.8	32.3	29.6	31.3	26.5	29.7	24.8	27.9	26.1	29.5	25.0
乳	5.0	7.5	10.9	10.1	10.4	12.9	14.5	15.4	12.9	17.1	15.8	18.2	15.9	17.6	12.9	19.4	14.1	20.0
子宮	13.8	10.9	8.6	10.1	9.3	7.1	8.6	10.0	11.0	9.9	10.0	7.5	9.0	11.0	9.7	10.8	10.3	10.1



④主な部位別年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万対）

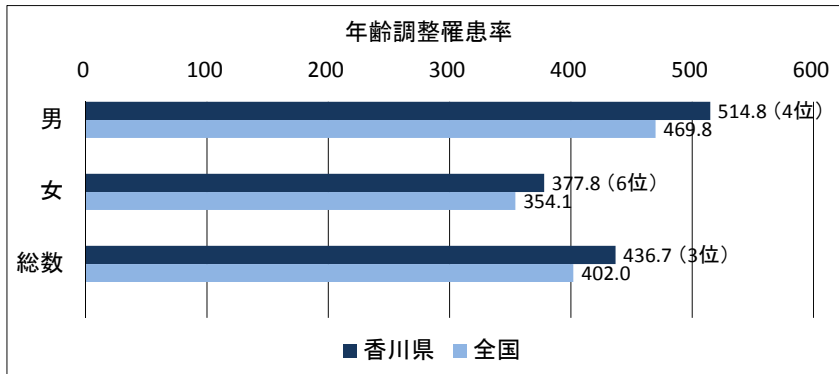
- ・胃がんは減少傾向にあるが、平成29年において全国平均より高い。
- ・大腸がんは全国平均より低い値で推移している。
- ・肝臓がんは減少傾向にあるが、平成26年以降、全国平均より高くなっている。
- ・肺がんは減少傾向にあり、平成27年以降、全国平均より低くなっている。
- ・乳がんは年による変動が大きいですが、全国平均より低い値で推移している。
- ・子宮がんは横ばい状態で、全国平均と同様な推移を示している。



### (3) がんの罹患状況

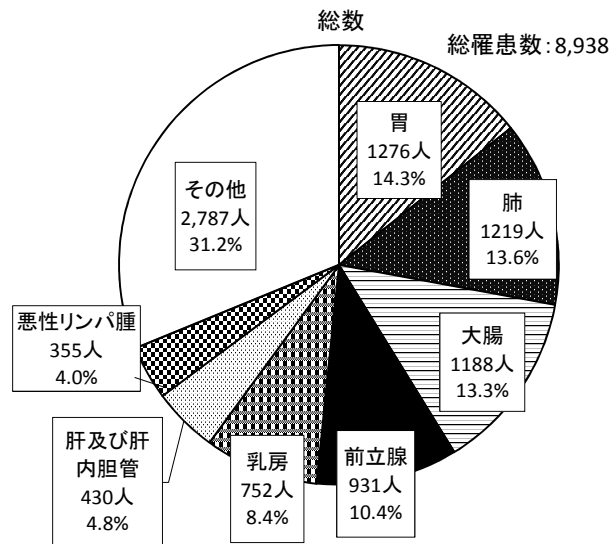
#### ①がんの罹患数(人)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)

	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率		
	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
香川県	5,232	3,706	8,938	1,110.8	738.2	918.6	514.8	377.8	436.7
全国	566,575	428,499	995,13	917.3	657.5	784.0	469.8	354.1	402.0



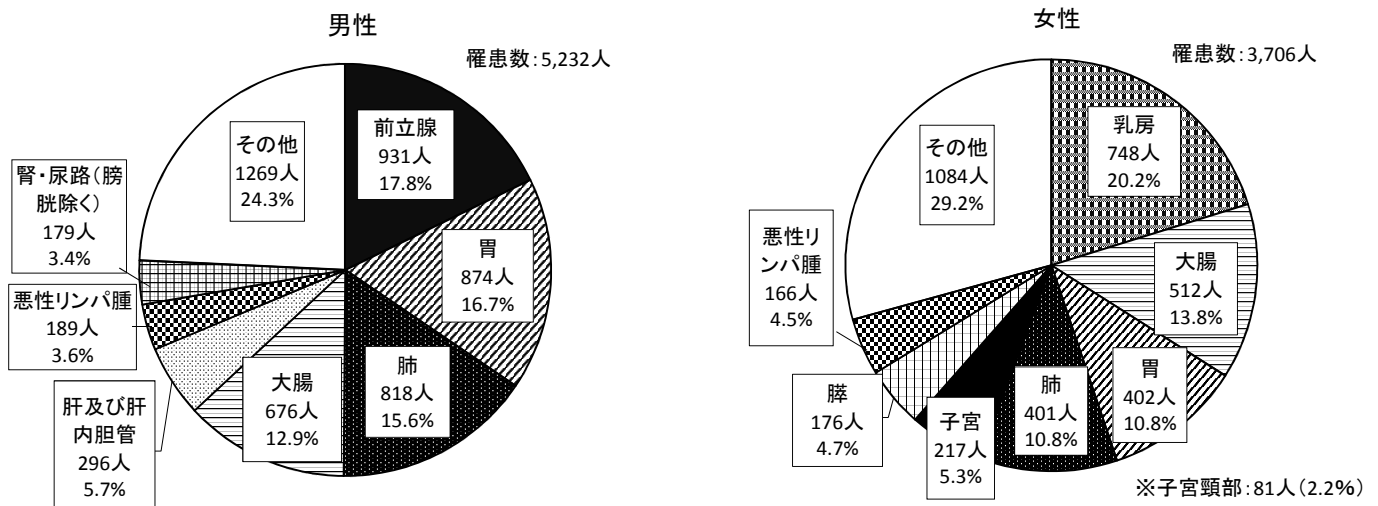
#### ②がんの部位別罹患数の内訳

平成28年のがんによる罹患数の内訳をみると、「胃」(14.3%)が最も多く、次いで「肺」(13.6%)、「大腸」(13.3%)となっています。



#### ③がんの性別・部位別罹患数の内訳

平成28年のがんによる罹患数について、男女別の内訳をみると、男性では「前立腺」(17.8%)が最も多く、次いで「胃」(16.7%)、「肺」(15.6%)の順となっています。女性では「乳房」(20.2%)が最も多く、次いで「大腸」(13.8%)、「胃」(10.8%)の順となっています。



④主な部位別年齢調整罹患率(人口10万対)

